

「自由に使える環境作文」使用条件

① 学校提出用に限る著作権フリーとする。そのまま使ってもいいし、手を加えるのも可とする。

② パクリ・コピペがばれた場合、また、この作文を使用して何らかの問題が発生した場合、すべて自己責任（悪いのは自分）とし、センセイに思いっきりしかられること。

③ パクリ・コピペがばれるか不安ならば、使用しないこと。もしくはは適当に手を加えて、オリジナル風に仕上げて提出すること。

④ 他のホームページに転載しないこと。

⑤ 他のホームページから直リンしないこと

⑥ 「環境作文」から解放された時間で、すてきな夏休みの思い出を作ること。

<http://www.onda-honpo.com/kanryo-sakubin-free/index.html>

てもすぐに汚されてしまったんだが、今では
 わしら老人会が行うんだ。以前はゴミを拾っ
 一回、ゴミ拾いがあるんじゃないよ。この作業は
 「どんな活動なの」と祖父に聞くと、「月に
 動じゃよ」と祖父が教えてくれた。
 たんだが、今では地元住民のボランティア活
 れいになったのは。役場が音頭を取って始め
 動が始まったんだ。それからじゃよ、川がき
 なったんじゃないよ。それと同時に、川の浄化運
 一下水道が完備されて、生活排水が流れなく
 度も繰り返したのが印象的だった。
 いになったな」と、「きれいになった」を何
 夏は蚊がすごかったんだ。それにしてもきれ
 なのか、どぶなのか分からないほど汚くて、
 り言った言葉だった。「子どもころは、川
 こと、一人散歩に出かけた父が戻ってくるな
 今年の夏、父の実家に家族で出かけたときの
 「この川もきれいになったな」と父が言った
 ●年 ● ● ●

きれいになった川から学んだ

だれもゴミを捨てなくなつた。来月から三ヶ
 月に一度になつてな」と答えてくれた。
 「ほかには」と尋ねると、「竹炭を網に入れ
 て川底に敷くんじゃよ。竹炭は川をきれいに
 する働きがあるそうだな。ほかにも、微生物
 の入つた液体を川に流しているらしいが、詳
 しいことは分からんなあ」、「祖父が言った。
 「こんな小さな村でも、みんなが協力すれば
 あんなに汚かつた川がきれいになるんじやか
 らなあ」と祖父がつぶやいた。
 わたしはその川がどれくらい汚かつたのか
 知らない。でも、村の人たちが協力した成
 果と知つて感動した。みんなで行動を起こせ
 ば、きれいになると知つてうれしくなつた。
 わたしも何か行動を起こせたらと思つた。
 中学生のわたしには多くの人たちに呼びかけ
 て行動を起こすことはできないだろう。だが
 できることは何かあるはずだ。目に入つた空
 き缶をゴミ箱に入れるだけでも効果があるの
 ではないだろうか。

早速家の周りの道路に落ちている空き缶や
ゴミを拾った。少し恥ずかしかった。知って
いる人に会ったらなんて言われるだろうか
不安になったが、自信を持って行動しよう、
そう決心した。次の日、同じようにゴミが落
ちていた。だが、まだ始めたばかりだ。続け
てみようど心に決めた。次の日も、その次の
日も続けた。気のせいか落ちているゴミの量
が減ってきたように思えた。うれしかった。
日を追うごとにゴミが少なくなっている。
これは気のせいではない。ゴミを捨てる人が
少なくなっているのだ。「よし、ゴミを捨て
る人がいなくなるまで続けよう」と思った。
夏休みもおわりに近づいたある日、ゴミは
一つも落ちていなかっただ。何とも言えない達
成感があった。
学校が始まったら友達を誘ってみようと思
う。いやがられるかもしれないが、一人でも
協力してくれればいい。わたしが本気になれ
ばきっと輪が広がってくれれば信じている。